

一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト 2017 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」公募助成 一般公開プレゼンテーション

日時:2017 年 3 月 12 日(日)15:00~16:30

会場:アジア文化会館 101 研修室

<http://www.abk.or.jp/access/index.html>

(参加費無料、事前申し込み不要)

一般にはまだあまり知られないまま、お米から果物まで、ときには「減農薬」の切り札として用いられ、シロアリ駆除剤や防虫剤として身近な暮らしにも入り込んでいるネオニコチノイド系化合物（およびフィプロニル）——。有機リン系農薬の代替物として 1990 年代に開発されて以来、国内外を問わず使用が急拡大するネオニコチノイド系農薬は、その浸透性・残留性・神経毒性から、ミツバチの大量失踪が示唆するように生態系と生物多様性全体を脅かすばかりか、子どもたちの脳の発達にも悪影響をおよぼす可能性が指摘されています。

EU でのモラトリアムをはじめ世界的に研究や規制が進んでいますが、日本では各地で民間の削減努力が生まれつつある一方、全体的にはいまなお規制緩和の方向です。本助成は、予防原則を踏まえて、ネオニコチノイド系農薬の被害を防ぎ、規制のあり方や一般市民の消費行動を変える働きかけ、ネオニコチノイド系化合物の影響を市民の立場から検証する調査・研究、そしてすでに多くの環境化学物質と放射能に取り巻かれた私たちが、ネオニコチノイド系農薬にどう対処していくべきかを探る公共的な議論喚起など、問題解決に向けた効果的な取り組みを支援します。

呼びかけに応じてご応募いただき、一次審査を通過した 2 企画（他 1 件調整中）の公開発表会を下記のプログラムで開催します。

【プログラム】(予定)

15:00~15:15	開会あいさつ+選考委員紹介	
15:15~15:35	生活協同組合連合会 コープ自然派事業連合	ネオニコフリー生産者消費者・リレー学習会の開催
15:40~16:00	公益財団法人みやぎ・環境とくらしネットワーク 食部会	情報発信ツールを用いたネオニコチノイド系農薬の認知度向上と情報収集の場の提供
16:00~16:30	情報交換+ネットワーキング	
16:30~16:40	連絡事項+閉会あいさつ	

※ 発表 10 分／質疑応答 10 分

2017 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」公募助成 一次審査通過企画 概要一覧

※ 申請書受付順

※ 企画概要は申請書記載の内容を転載

「ネオニコフリー生産者消費者・リレー学習会の開催」

生活協同組合連合会 コープ自然派事業連合(申請者:鎌田妙子)

広報・社会訴求部門

ネオニコチノイド系農薬がミツバチだけでなく生態系全体や人間に悪影響を広く及ぼすことを消費者、生産者の参加する学習会で共有し、生産現場でのネオニコフリーを実現したい。しかし現場ではネオニコ農薬を削減することに不安も多く取り組みが進んでいない。各地で先進的に取り組む生協とのネットワークの中で生産者と消費者と情報交流するなかで、ネオニコフリーへの機運をつくっていききたい。

「情報発信ツールを用いたネオニコチノイド系農薬の認知度向上と情報収集の場の提供」

公益財団法人みやぎ・環境とくらしネットワーク 食部会(申請者:菅原哲平)

広報・社会訴求部門

2015 年度に貴団体助成金を活用して実施したアンケート式意識調査で、一般市民のネオニコチノイド系農薬（以下農薬）に関する知識・理解不足が判明した事実に鑑み、農薬全般の情報提供と知識・理解の向上が第一の課題と考えた。解決方法として、農薬とミツバチをテーマにした紙芝居の作製・上演、果樹栽培農家や養蜂園見学を通じた生産現場の生の情報収集と体験、の2つを企画し、幅広い世代に対して情報収集と体験の場を提供する。